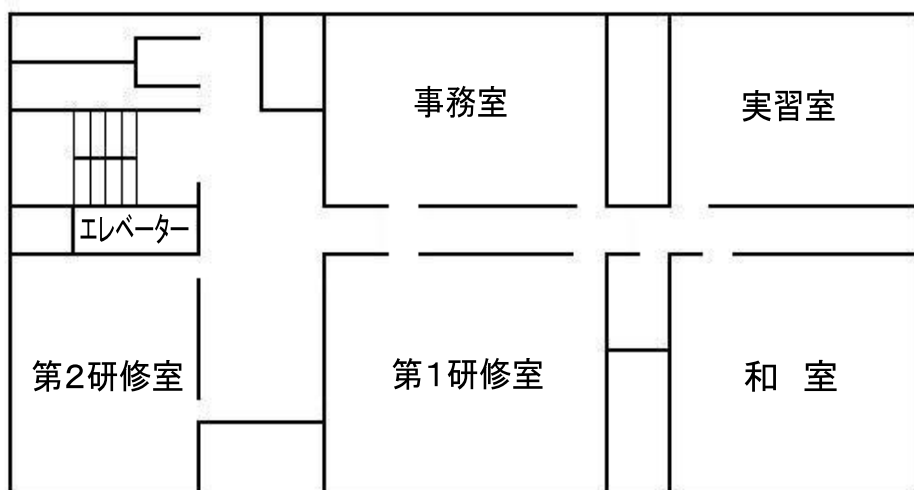
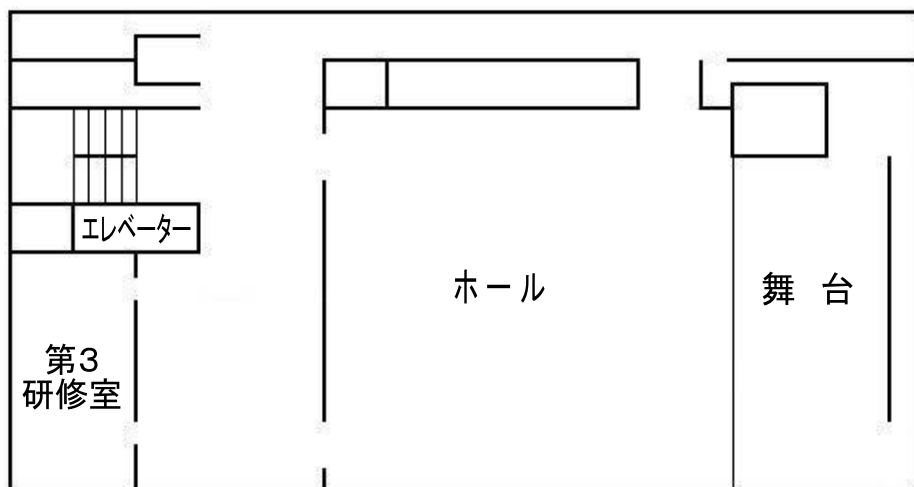


若 狭 公 民 館



利 用 施 設 の ご 案 内



部屋名	収容人数	用 途 (備 品)
ホール	200～250 人	講演会・発表会・音楽会・展示会等 (ピアノ・イス等)
第 1 研修室	60 人程度	研修室・会議 (イス・テーブル)
第 2 研修室	30 人程度	研修室・会議 (イス・テーブル・電子ピアノ)
第 3 研修室	20 人程度	研修室・会議 (イス・テーブル)
実 習 室	20 人程度	調理実習・その他実習 (料理用器具等)
和 室	20～30 人 (12 畳×2)	お茶・生け花・着付け (茶道設備)

I 若狭公民館の沿革

旧若狭市場跡に完成した当施設は、国道58号線以西でははじめての文化施設である。平成元年4月に公民館・図書館建設用地として、用度管財課より教育委員会へ移管され、建設について地域住民、利用団体からの意見・要望を聴取し、平成3年6月22日工事着工、平成4年3月19日竣工した。

建物は若狭小学校、若狭公園に隣接し、1階は図書館、2・3階が公民館で地域住民の学習の場として誕生した。特に生涯学習に関する情報等を提供する事業として、パーソナルコンピューターと電話回線を利用したパソコン通信を県内の行政機関ではじめて導入した。

平成16年度より公募による非常勤館長を配置し、平成22年度より公民館業務の一部をNPO法人に委託している。平成27年度より指定管理者制度を導入し、NPO法人地域サポートわかさが指定管理者となった。

平成3年11月1日	若狭公民館の発足に伴い、館長 高良繁が発令された。
平成4年6月2日	若狭公民館及び図書館の開館式が行われた。
6月3日	若狭公民館及び図書館が開館。
6月10日	利用団体サークル（32団体）への施設の提供が始まった。
8月4日	生涯学習情報提供事業「NAHAあけもどろネット」開局式が行われた。
平成5年3月5日	第1回若狭公民館まつりが開催された。
平成6年11月7日	若狭公民館利用団体連絡協議会が結成された。
平成7年4月1日	館長 高良繁配置替えにより、館長 宮良毅が発令された。
7月14日	社会教育優良施設として県教育委員会より表彰を受ける。
12月1日	多年に亘り優れた公民館活動が認められ、沖縄県公民館連絡協議会より表彰を受ける。
平成8年4月1日	公民館主事1減に伴い社会教育指導員1増。
平成10年4月1日	館長 宮良毅配置替えにより、館長 阿波連寛が発令された。
平成11年10月27日	第52回優良公民館として文部大臣表彰を受ける。
平成13年4月1日	館長 阿波連寛配置替えにより、館長 高里洋介が発令された。
平成16年4月1日	館長 高里洋介配置替えにより、館長（非常勤）山田民子が発令された。 非常勤館長配置に伴い、主査1増、公民館主事1減。
平成17年4月1日	社会教育指導員1減。
平成19年4月1日	館長（非常勤）山田民子任期満了により、館長（非常勤）宮城潤が発令された。
平成22年1月12日	全国公民館連合会主催「第3回全国公民館ホームページコンクール」で最優秀賞を受ける。
平成22年4月1日	館長（非常勤）宮城潤任期満了により、館長 津嘉山剛が発令された。
平成22年4月1日	業務の一部をNPO法人地域サポートわかさ（理事長 早川忠光）に委託された。
平成23年1月21日	全国公民館連合会主催「第3回全国公民館報コンクール」で『広報わかさ』が優秀賞を受ける。
平成23年4月1日	館長 津嘉山剛配置替えにより、館長 平良恒次が発令された。
12月13日	全国公民館連合会主催「第4回全国公民館ホームページコンクール」で最優秀賞を受ける。
平成24年4月1日	館長 平良恒次配置替えにより、館長 下地敏雄が発令された。
平成26年1月6日	全国公民館連合会主催「第5回全国公民館ホームページコンクール」で優秀賞を受ける。
4月1日	館長 下地敏雄配置替えにより、館長 平良恒次が発令された。
平成27年4月1日	指定管理者制度の導入により、NPO法人地域サポートわかさが指定管理者（理事長 早川忠光）となる。

平成28年1月8日	全国公民館連合会主催「第1回全国公民館インターネット活用コンクール」で最優秀賞を受ける。
平成28年12月21日	全国公民館連合会主催「第6回全国公民館報コンクール」で『広報わかさ』が優良賞を受ける。
平成30年1月8日	全国公民館連合会主催「第2回全国公民館インターネット活用コンクール」で最優秀賞を受ける。
平成30年3月8日	第70回優良公民館（文部大臣表彰）において「最優秀館」に選ばれる。
平成30年12月13日	第7回全国公民館報コンクールにおいて「最優秀賞」を受ける。
令和2年1月	第3回全国公民館インターネット活用コンクールにおいて「最優秀賞」を受ける。
令和3年1月	第8回全国公民館報コンクールにおいて「銀賞」を受ける。
令和3年12月	第4回全国公民館インターネット活用コンクールにおいて「金賞」を受ける。

Ⅱ 令和3年度若狭公民館事業目次

1 学習風景（写真）	65
2 成人一般対象事業	
〔1〕 市民講座	
◇ 南の島の南極教室オンライン2021	66
◇ わかさ手仕事教室 vol. 2 「野草で焼き塩とお茶」	67
◇ わかさ手仕事教室 vol. 3 「チガヤでコースター」	68
◇ NAHAで世界旅行 第一弾「今夜はベトナムご飯！」	69
◇ NAHAで世界旅行 第二弾「手で味わうネパールご飯♪」	70
◇ NAHAで世界旅行 第三弾「インドネシアの家庭の味」	71
◇ NAHAで世界旅行 第四弾「台湾のコーパオでお昼ご飯」	72
〔2〕 成人講座	
◇ グローバルパラソル市民会議	73
◇ ～ペンと紙一つ未来が変わる！？「わたしのバケットリスト」	74
〔3〕 健康講座	
◇ 楽しくウォーキング	75
3 高齢者対象事業	
〔1〕 高齢者学級	
◇ スマホレッスン講座	76
4 青少年対象事業	
〔1〕 少年教室	
◇ わかさ手仕事教室 vol. 1 「クバの葉でかごづくり」	77
〔2〕 青年講座	
◇ うみそら上映会実行委員会	78
〔3〕 親子ふれあい教室	
◇ おこづかいアップ大作戦！	79
〔4〕 放課後子ども教室	
◇ 若狭公民館地域子ども教室「若狭ちむどんどん太鼓」	80
5 家庭教育事業	
〔1〕 家庭教育学級	
◇ 子どもの未来応援します！	81
6 その他の事業	
〔1〕 地域連携事業	
◇ 沖縄ネパール相互理解とネットワーク構築のための交流会	82
◇ 「オンライン ネパール・ニューイヤー」報告書	83
◇ うみそら上映会 in 三重城団地	84
◇ うみそら上映会 in 若狭海浜公園	85
◇ なは防災キャンプ' 21 春（若狭公民館）	86
◇ なは防災キャンプ' 21 夏（那覇新都心公園）	87
◇ なは防災キャンプ' 21 in 那覇JC会館	88
◇ なは防災キャンプ' 21 秋 防災シンポジウム	89

〔2〕 提案事業

- ◇ 土曜朝塾・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9 0
- ◇ アーティストと開発する社会教育プログラム・・・・・・・・・・ 9 1

7 第29回公民館まつり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9 2

1 学習風景



市民講座

「南の島の南極教室オンライン2021」



親子ふれあい教室

「おこづかいアップ大作戦！」



高齢者学級

「スマホレッスン講座」



健康講座

「楽しくウォーキング」



提案事業

「アーティストと開発する社会教育プログラム」



地域連携事業

「なは防災キャンプ'21夏(那覇新都心公園)」

2 成人一般対象事業

〔1〕 市民講座

南の島の南極教室オンライン2021

趣 旨：南極観測や観測隊員の生活などについて知ること、南極を身近に感じ環境保全に関心を持つようになる。また、地球規模の視野を持って思考し行動するきっかけとなることを目的とする。

期 日：令和3年10月17日（日）

時 間：14：00～16：00

場 所：若狭公民館から会議アプリZOOMを使用して配信

対 象：那覇市在住の学の人、関心のある人

受講料：無料

定 員：なし

申込人数：29人（うち受講決定人数29人）

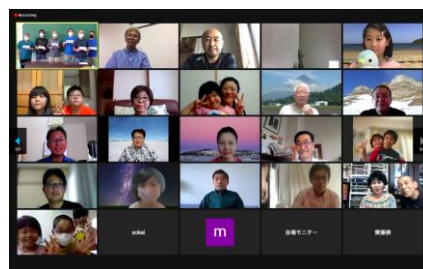
参加人数：29人

講 師：南極観測隊OB 11名

★★ 学習プログラム ★★

南極観測や現地での生活についての講話。

南極〇×クイズ・南極の氷が解ける音を聴く。ZOOMのブレイクアウト機能を使い直接質問。



【参加者の声】

- ・クイズなどを通して、食事や医療など南極生活での日常を垣間見ることができて楽しく学べました。
- ・休憩時間の動画がわかりやすくとても興味深かったです。
- ・Q&Aで回答と補足という形式がわかりやすかった
- ・沖縄に南極観測隊に参加された方がこんなにもいらっしゃるのか、と驚きました。南極について、色々知る事ができました。
- ・開始から最後までとても興味関心を惹かれるお話ばかりで、とても充実した時間を過ごさせていただきました。少し子どもたちには難しいお話もありましたが、皆さんのお話にとっても釘付けになっていました。今回、参加させていただきました、本当に良かったです。ありがとうございました。

【まとめ】

今年度も対面講座ではなくオンライン開催となったが、利点を活かし日本各地にいる南極OB、現在昭和基地にいる隊員、本年11月出発の63次隊の方を講師に招くことができた。それぞれの講師の専門分野で南極に関して幅広く講演していただき学術的なことも学べた。また〇×ゲームを取り入れ参加型にし参加者の反応を見ながら講座を行ったことで参加者の興味・関心をさらに高めることができた。ZOOMのブレイクアウト機能を使い直接質問する機会も設け、子どもから大人まで楽しめる講座となった。

わかさ手仕事教室 vol.2 「野草で焼き塩とお茶」

趣 旨：コロナ禍で出かける機会が少なくなっている状況のなか、新たな趣味として手仕事を提案したい。
地域にある身近なモノづくりを通して、昔からの生活の技と手仕事を知る機会となり、家庭や地域の
人に話を聞くきっかけになる。

期 日：令和3年11月28日（土）

時 間：15：30～17：00

場 所：若狭公民館からZOOMを利用し配信

対 象：那覇市在住・在学・在勤の人

受講料：無料

定 員：15人

申込人数：11人（うち受講決定人数10人）

参加人数：10人

講 師：久手堅 美咲姫（野草愛好家）

★★ 学習プログラム ★★

事前に作成した動画を見て各自野草を探索し、当日までに採取する。当日、ZOOMにて採取した野草について話をうかがい、焼き塩とお茶の作り方を学ぶ。



【参加者の声】

- ・実際の煎り加減や出来加減の色味、味を先生のつくられるものを比べる事ができず、上手くいったかどうかわからなくて残念。基準があると今後の自分の好みができ易いと思いました。
- ・採取した野草の量が少なかったが、焼き塩がつくれてうれしかった。
- ・野草の効能などについての話もあり勉強になった。プレゼントに作ってみたい。
- ・身近な野草でお茶やソルトができてうれしくて感動しました。

【まとめ】

当初、公民館の近隣を探索して野草を採取し、焼き塩を作る対面講座を企画していたが、コロナ禍で緊急事態宣言が長引く状況にて感染症対策のため、オンラインにアレンジして開催した。事前に講師と公園を探索し、見分けのつき易い野草を選ぶコツを示した動画を作成し、参加者は講座の事前にその動画を見て、野草を採って準備してもらった。初めての試みだが、オンラインの面白い活用方法ではないかと思う。今回、オンライン環境はない希望者には、見学というカタチで受講してもらった。オンライン講座の良さを生かしつつ、オンライン環境がない人にも配慮していきたい。

わかさ手仕事教室 vol.3「チガヤでコースター」

趣 旨：コロナ禍で出かける機会が少なくなっている状況のなか、新たな趣味として手仕事を提案したい。
地域にある身近なモノづくりを通して、昔からの生活の技と手仕事を知る機会となり、家庭や地域の
人に話を聞くきっかけになる。

期 日：令和4年1月30日（日）
時 間：9：30～12：00
場 所：若狭公民館ホール
対 象：那覇市在住・在学・在勤の人
受講料：無料（但し、保険料・材料費150円は自己負担）
定 員：20人
申込人数：38人（うち受講決定人数20名）
参加人数：16人
講 師：有谷 元子（あるむんじゅくい）

★★ 学習プログラム ★★

チガヤに糸を巻きつけながらカタチをつくり、コースターをつくる。民具についての話（作り方、素材について）コースターからのアレンジ方法



【参加者の声】

- ・身近な雑草が人の手によって、生活用具に生まれかわることに感動
- ・今回の講座であみものにきょうみをもった。また、別のあみもののしかたを習いたい。
- ・自然を感じられた。親子で参加できて楽しかった。
- ・大きなかごにチャレンジしたい。

【まとめ】

本講座の受講生は10歳から90歳という幅広い世代で、公民館の利用がはじめてという方も多かった。新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、オンラインへの切り替えができるように準備していたものの、オンライン環境がない方が半数以上いたことを考えると、今後も対面講座を積極的に開催していきたい。異年齢が共に同じ空間で集中して手仕事にはげんでいた。こういった異年齢に受け入れられ、それぞれが楽しむ事が出来る活動はコロナ禍だからこそ、大切にしたいと感じる。続けたいという声が複数あるのでサークル化に導きたい。講師へ様々な質問をする受講者が多く、手仕事への興味関心の高さを感じたので、今後も身近なものを活用したものづくりの情報発信につとめたい。

NAHAで世界旅行 第一弾「今夜はベトナムご飯！」

趣 旨：那覇市には多くの外国人が生活しているが、交流する機会はあまり多くない。地域で暮らす在住外国人から料理を習うことにより、その国の文化や歴史などを知り、異文化交流のきっかけをつくる。飛行機にのらなくても旅行気分を味わいながら楽しく交流できるようにする。

期 日：令和3年8月17日（土）

時 間：18：00～20：00

場 所：若狭公民館からZOOMを使用して配信

対 象：那覇市在住・在勤・在学の人。オンライン環境があり、リアルタイムで調理できる人

受講料：無料

定 員：10人

申込人数：11人（うち受講決定人数11人）

参加人数：10人

講 師：リユー・ヴァンタイ（沖縄在住1年・ベトナムレストランHoi Quanシェフ）

★★ 学習プログラム ★★

ベトナム料理（鶏肉の和え物、フォーの海鮮炒め）を教えてもらう。事前に作成した動画を使い、講座はオンラインミーティングアプリZOOMにて開催。参加者には動画を見ながら調理し、講師には画面を見ながらアドバイスをいただく。後半はベトナムの習慣や文化についてお話をうかがう。食材は各自準備する。



【参加者の声】

- ・味が美味しすぎました。
- ・海外に行けない分、少しでも現地の味や話を聞けて楽しかった。
- ・オンラインでの料理講座は初めてだったが簡単だった。世界の料理を自分で作って、その国のことを知るプチ情報が聞けるのも旅行に行った気分になれてよかった。
- ・ナンプラーの使い方、砂糖の役割がわかった。シェフの丁寧な下ごしらえが勉強になりました。

【まとめ】

はじめてのオンライン料理講座の開催にあたり、事前に料理の様子を撮影、動画を作成した。講座前に料理を作ることによって不明点を明確にした上で講座をむかえることができた。外国人講師とのやりとりだった為、いき違いがないように、普段以上に確認し、当日は無事にオンラインにて開催できた。参加者個々のインターネット状況による見逃しがあることがわかったので、今後はそのあたりにも考慮しつつ開催したい。レシピ動画を公開し、講座に参加できなかった方にも共有している。

本講座をきっかけにオンライン講座の楽しさを知り、他の講座も積極的に受講できるようになった方や、ベトナム料理をつくるようになり、食材店で会話を楽しみながら交流しているといった声が複数きこえてきている。

NAHAで世界旅行 第二弾「手で味わうネパールご飯♪」

趣 旨：那覇市には多くの外国人が生活しているが、交流する機会はあまり多くない。地域で暮らす在住外国人から料理を習うことにより、その国の文化や歴史などを知り、異文化交流のきっかけをつくる。飛行機にのらなくても旅行気分を味わいながら楽しく交流できるようにする。

期 日：令和3年10月18日（月）

時 間：18：30～20：30

場 所：若狭公民館からZOOMを使用して配信

対 象：那覇市在住・在勤・在学の人。オンライン環境があり、リアルタイムで調理できる人

受講料：無料

定 員：15人

申込人数：18人（うち受講決定人数18人）

参加人数：15人

講 師：ネウパネ・スザン（沖縄在住8年・Asian Food Dining代表）

★★ 学習プログラム ★★

ネパール料理（ダルバート、タルカリ）を覚えてもらう。事前に作成した動画を使い、講座はオンラインミーティングアプリZOOMにて開催。参加者には動画を見ながら調理し、講師には画面を見ながらアドバイスをいただく。後半はネパールの習慣や文化について、お話をうかがう。手食方法も覚えてもらう。食材は各自準備する。



【参加者の声】

- ・はじめてのネパール料理、美味しすぎて感動しました！手で食べるのも楽しかった。
- ・コンビニなどで出会うネパールの方たちについての理解も深まったかと。料理のことを話題にしながらコミュニケーションがとれるといいなと思いました。
- ・美味しかった！自分で探して外国人から料理講座を受けるのは難しいと思う。無料で、なおかつ必要なものも公民館で購入できるなんて素晴らしいと思いました！

【まとめ】

第二弾となる本講座は、あっという間に定員に達し追加で参加できるように調整した。家族で料理を作り、みんな一緒に手食体験をする様子が見られた。対面の料理講座では、家族で参加することはなかなかないので、オンライン料理講座ならではの楽しみ方があると感じた。講座を通してネパールという国や料理に興味をもち、近隣の食材店やコンビニで会うネパールの方と交流する方も出てきた。公民館でたびたび外国人と交流する講座やイベントを企画しているせいか、ネパール人の公民館利用が増えている。

NAHAで世界旅行 第三弾「インドネシアの家庭の味」

趣 旨：那覇市には多くの外国人が生活しているが、交流する機会はあまり多くない。地域で暮らす在住外国人から料理を習うことにより、その国の文化や歴史などを知り、異文化交流のきっかけをつくる。飛行機にのらなくても旅行気分を味わいながら楽しく交流できるようにする。

期 日：令和3年12月10日（金）

時 間：18：30～20：30

場 所：若狭公民館からZOOMを使用して配信

対 象：那覇市在住・在勤・在学の人。オンライン環境があり、リアルタイムで調理できる人

受講料：無料

定 員：15人

申込人数：13人（うち受講決定人数13人）

参加人数：13人

講 師：仲里 ヤユ（沖縄在住25年）

★★ 学習プログラム ★★

インドネシア料理（ナシゴレン、サンバルゴレンテリ）を教えてもらう。事前に作成した動画を使い、講座はオンラインミーティングアプリZOOMにて開催。参加者には動画を見ながら調理し、講師には画面を見ながらアドバイスをいただく。後半はインドネシアの習慣や文化について、お話をうかがう。食材は各自準備する。



【参加者の声】

- ・インドネシアに興味があった。沖縄との共通点も面白い。
- ・応用して自宅にある材料でいろいろ作れそう。
- ・ナシゴレン、ちょっとのポイントで再現性が高まりました
- ・事前のまとめビデオも、とてもわかりやすいです。
- ・初めての調味料がよい経験になった。

【まとめ】

第二弾、第三弾からのリピーターが多く、オンライン料理講座を楽しんでいる様子が見えた。インドネシア料理には、普段使うことのない調味料やハーブなどを多く使う。講師に直接質問することで理解を深めることができた。

後半の習慣や文化について何う時間が多くとれたので、参加者の旅行している時に感じたちょっとした疑問など、さまざまな質問にお答えいただくことができた。多くの民族が暮らすインドネシアは宗教によって文化がだいぶ違うことがわかった。現在、那覇には多くのインドネシア人が住んでいるが、出身地や宗教によって付き合い方も変わってくることに講座を通して気づくことができた。

NAHAで世界旅行 第四弾「台湾のコーパオでお昼ご飯」

趣 旨：那覇市には多くの外国人が生活しているが、交流する機会はあまり多くない。地域で暮らす在住外国人から料理を習うことにより、その国の文化や歴史などを知り、異文化交流のきっかけをつくる。飛行機にのらなくても旅行気分を味わいながら楽しく交流できるようにする。

期 日：令和4年2月6日（日）

時 間：10：00～12：00

場 所：若狭公民館よりZOOMを使用して配信

対 象：那覇市在住・在勤・在学の人。オンライン環境があり、リアルタイムで調理できる人

受講料：無料

定 員：15人

申込人数：15人（うち受講決定人数15人）

参加人数：15人

講 師：張本 秀麗（沖縄在住40年・台湾民俗舞踊サークル講師）

★★ 学習プログラム ★★

台湾料理（粿包コーパオ、涼拌黃瓜リャンバンファングァ）を教えてもらう。事前に作成した動画を使い、講座はオンラインミーティングアプリZOOMにて開催。参加者には動画を見ながら調理し、講師には画面を見ながらアドバイスをいただく。後半は台湾の習慣や文化について、お話をうかがう。食材は各自準備する。



【参加者の声】

- ・自分では作らない、予想外の組み合わせのおもちでとても美味しかったです。また作ろうと思います。
- ・餅粉にのりを入れることでアレンジの幅が広がった。切り干し大根の美味しい作り方がわかってうれしい。
- ・毎回楽しい企画をありがとうございます。
- ・台湾が恋しくなった。

【まとめ】

はからずも旧正月の時期の開催になったため、講師がお正月に食べるお菓子を持ってきてくれて紹介することが出来た。茶器も持参していただき、お茶の楽しみ方のデモンストレーションもあり、盛りだくさんな内容となった。コーパオを作るには工程がいくつもあり、忙しい調理になってしまった。オンライン環境による聞き逃し、見逃しがあることがアンケートによりわかったので、使用した食材をその都度コメント欄に記入した。シリーズで開催したNAHAで世界旅行は今回で全4回が終了したが、講座が終了して終わりではなく、講座内でうかがった文化や、地域に暮らす在住外国人の方の話などを紹介していきながら、交流がつづくような情報発信などを心がけたい。

〔２〕 成人講座

グローバルパラソル市民会議

趣 旨：社会的に弱い立場に置かれることの多い在住外国人の方々の困りごとや日本社会に対する疑問などの声を聞き合う場としてグローバル市民会議を開催する。在住外国人と地域住民等がお互いに自由に意見を交わすことで多文化共生社会の実現に向けて取り組む契機とする。

期 日：令和3年11月6日（土）

時 間：14：00～15：30

場 所：若狭公民館（ミーティングの様子をYouTube生配信）

対 象：那覇市在住・在学の人、興味関心のある人

受講料：無料

定 員：なし

申込人数：74人（うち受講決定人数70人）

参加人数：70人

ゲスト：オジャラックスマン、ラフル サハ、オズワルド カストロ ロメロ、根路銘 マリア ソレダ、ヤン ヒキョン、山内京子、真栄城孝、前泊美紀、上里直司、大城幼子、中村圭介

主 催：多文化ネットワーク f u ふ！ 沖縄 協力：ONFA（沖縄ネパール友好協会）・那覇市若狭公民館

★★ 学習プログラム ★★

昨年度の那覇市「新型コロナウイルス感染症対応市民活動チャレンジ助成事業」の中で多文化ネットワーク f u ふ！ 沖縄が行なったアンケート調査内容やそこから見えてきた課題についての報告を行ったあと、沖縄移住者や学生、技能実習生など属性や国籍がそれぞれ異なる在住外国人（6名程度）と地域住民等（4～6名）でディスカッションをする。生活・教育・コミュニティの3つのテーマを中心に外国人の意見を聞いて、それをふまえてみんなで自由に意見を交わす。



【参加者の声】

- ・ こういう会議は、1回きりではなく、定期的にあるといろんな方々が参加できて広がって、つながることができるのではないかと思います。若狭公民館さんは、市民に即したニーズや興味関心を引くような講座や会議をしてくださって素晴らしいと思います。
- ・ 私も皆さんの活動に協力し、様々なバックグラウンドを持つ方々と一緒に何かできたらいいな。

【まとめ】

外国人は伝えたいことがあるけどどこに相談したらいいのかわからない、一方で行政や自治会などは、どこで外国人の情報を得ればいいのか、どのように情報を発信したらいいのかが分からない。今回の市民会議によって、お互いに得たい情報があるけれど、それぞれどうしたらいいのが模索している状況が見えてきた。

普段、意見を交わす機会のないメンバーが顔を合わせてざっくばらんに意見を言い合うことで、お互いに求めていることが見え、改めて直接話す場の必要性を感じた。今後も多文化共生のまちづくりを目指して、積極的にコミュニケーションをとっていけるように取り組んでいきたい。

～ペンと紙一つで未来が変わる！？～「わたしのバケツリスト」

趣 旨：コロナ禍において（健康状態の悪化や仕事を休まないといけない状況）転職や離職など私たちの生活は劇的に変化している。忙しい毎日の中、自分の価値観や人生プランを見失いがちの方に今一度自分を見つめ直して幸せな人生を描いてもらうことを目的とする。

期 日：令和3年10月26日（火）

時 間：19：00～21：00

場 所：若狭公民館から会議アプリZOOMを使用して配信

対 象：那覇市在・在勤・住在学の人、関心のある人

受 講 料：無料

定 員：25人

申込人数：34人（うち受講決定人数34人）

参加人数：34人（講話のみの参加者も含む）

講 師：旅する絵本作家 リック・スタントン

★★ 学習プログラム ★★

- ・旅する絵本作家のリック・スタントン氏による講話
- ・参加者でリストを作成し発表し合う



【参加者の声】

- ・以前から若狭公民館の動向を大変興味深く拝見しておりました。ちらしは、よく見ていていつか参加したいと思っていましたので、大満足です。本当にチョイスがいつも私の求めていることと類似していて嬉しく思っていました。
- ・すごく楽しかったです。ためになりました。バケツリスト書きたくなりましたし、友達に11/3一緒に書こうと誘いたくなりました。
- ・リックさんの実体験からやりたいことリストの有効性を強く感じました。このような機会を設けていただき感謝しています。
- ・夢を叶えるノート、人生の目標達成方法をいろいろと学ぶ機会がありましたので、今回は、どんな内容なのかとても期待していました。期待以上の内容に大満足です。ありがとうございました。

【まとめ】

講話では、バケツリスト作成のキッカケや考え方、書き方のポイントなどを教わった。講師の半生をうかがうことで、バケツリストへの理解を参加者と深めることができた。後半はZOOMのブレイクアウトルーム機能を使い、小グループに分かれてリストの作成を行なった。最初は初めてで緊張もみられたが、講師が参加者のグループに入って交流をすることで活発な意見交換ができた。

最後に参加者のやりたいことなど、お互いの夢を共有することができた。

〔3〕 健康講座

楽しくウォーキング

趣 旨：コロナ過でやーぐまいが長く続き、体力低下が心配されている。運動不足を解消し、生活習慣病予防・改善を心掛け、歩く習慣を身に付ける。

期 間：令和3年11月9日（火）～19日（金）全4回

時 間：18：30～20：00

場 所：那覇市若狭公民館 ホール・若狭海浜公園及びその周辺

対 象：那覇市在住・在勤の人

受講料：無料（但し、保険料200円）

定 員：20人

申込人数：18人（うち受講決定人数18人）

参加延べ人数：64人

講 師：堀川 恭登（浦添市立宮城っ子児童センター / 運動上級指導員）

★★ 学習プログラム ★★

回数	実施日	内 容	活動場所	参加人数
第1回	11月9日 (火)	ウォーキングの効果と、正しく安全に歩くための注意点	若狭公民館ホール 那覇市内	16人
第2回	11月12日 (金)	ウォーキングの基本姿勢と効果的な歩き方	若狭公民館ホール 那覇市内	14人
第3回	11月16日 (火)	那覇の町を歩いてみよう	若狭公民館ホール 那覇市内	13人
第4回	11月19日 (金)	ウォーキングの楽しさを知る	若狭公民館ホール 那覇市内	21人



【参加者の声】

- ・こんな講座にどんどん取り組んで欲しい、地域活性化につながると思います。
- ・地域の知らなかったことを知れた。
- ・ゆんたくしながら楽しめた。
- ・今後もウォーキングを継続したいと思います。
- ・また機会がありましたら参加したいです。

【まとめ】

歩く習慣を身に着け健康でより良い日常を送ることを目的とした本講座、運動に関する楽しいお話とともにウォーキングのコツも教えていただきながら那覇駅跡や国道58号線の終点などのスポットも巡り、参加者からは「歩いてみないと分からない場所に出会えた、参加できて良かった」という感想もいただいた。爽やかな秋風を受けながら楽しくウォーキングをする事が出来た。

3 高齢者対象事業

〔1〕 高齢者学級

スマホレッスン講座

趣 旨： スマートフォン・タブレットを持っているが使いこなせない高齢者を対象にLINE（ライン）＝（利用者同士で、無料でメッセージのやり取り、音声通話、ビデオ通話ができるもの）の基本的な操作方法から応用までを学んでいただき、コロナ禍でなかなか会えない遠くにいる家族とのコミュニケーションや実生活に役立ててもらおう。

期 間： 令和3年12月1日（水）、12月2日（木）

時 間： 13：30～15：30

※8月実施予定だったが、緊急事態宣言による休館のため延期

場 所： 那覇市若狭公民館 第1研修室

対 象： 那覇市在住・在勤の60歳以上の人で全2回通して参加できる人

受講料： 無料 定員： 15人 申込人数： 19人（うち受講決定人数19人）

参加延べ人数： 28人

講 師： 房前 三男（公益社団法人那覇市シルバー人材センター会員）

★★ 学習プログラム ★★

回	実施日	内容	人数
1	12月1日	スマホの操作の基本、音声検索の活用方法、インターネットでの検索方法	15
2	12月2日	アプリの検索方法、LINEビデオ通話、LINEのトークの活用方法	13



【参加者の声】

- ・ スマホの日常生活の利用方法を知る事が出来た。
- ・ 色々な機能の使い方が楽しかったです。
- ・ 講師のユーモア有る授業で楽しく過ごせました。
- ・ スマホを持っているけど機能がありすぎて理解できませんでしたが、講師の優しい指導、又アシスタントの皆様のおかげで少しずつ理解できました、ありがとうございます。
- ・ いい内容でした。ありがとうございます。

【まとめ】

2日間を通し皆さんとても熱心に講座にご参加いただき、スマホを使いこなしたいという熱意を感じた。自分のスマホを活用出来るようにすることを目的とし、「検索が楽しくなった」「知りたかった機能についてわかった」という声もあり、コロナ禍でなかなか会えない家族や友人とのコミュニケーションツールとしてスマホを活用するきっかけとなった。

4 青少年対象事業

〔1〕 少年教室

わかさ手仕事教室 vol.1「クバの葉でかごづくり」

趣 旨：コロナ禍で出かける機会が少なくなっている状況のなか、新たな趣味として手仕事を提案したい。地域にある身近なモノづくりを通して、昔からの生活の技と手仕事を知る機会となり、家庭や地域の方に話を聞くきっかけになる。

期 日：令和3年11月14日（日）

時 間：10：00～12：00

場 所：若狭公民館ホール

対 象：那覇市在住・在学の小学生から高校生まで

受講料：無料（但し、保険料50円は自己負担）

定 員：20人

申込人数：91人（うち受講決定人数21人）

参加人数：17人

講 師：仲間 あずみ（にぬふあぶし代表）

★★ 学習プログラム ★★

若狭海浜公園にたくさんあるクバの葉を使ってかごを編む。クバで作られる民具を紹介。クバの新芽を使い縄の作り方体験。ひざにクバの葉を沿わせてカタチを作り、カゴにするデモンストレーションの後、各自かごづくりをした。持ち手やかごの淵のアレンジ方法も学んだ。



【参加者の声】

- ・自然のものを使って道具が作れることがわかった。楽しかった。
- ・捨てられるものが昔は活用されていたことがわかった。貴重な体験ありがとうございました。
- ・またやりたい。毎日やりたいです。
- ・付き添いのつもりが夢中になってしまった。

【まとめ】

夏休みに子ども向けに開催を予定していた本講座は、臨時休館による延期が重なり、11月に開催した。久しぶりの対面講座は、参加者の楽しそうな様子を見ることができ、オンライン講座が主流になることが想定されるが、対面講座も積極的に企画したいと思った。公園で見かける植物から道具が作れることに驚きながらも各自集中してかごづくりに励んでいた。本講座では廃棄されるクバの葉を活用したが、今後も地域にある資源を利用できる資源として紹介していきたい。講座終了後、講師の作成した民具を展示したところ、来館者より「私も作れるよ」などと話しかけられた。参加された方が家庭でもそんな会話がされていることを望む。

〔2〕 青年講座

うみそら上映会実行委員会

趣 旨：有志により結成された実行委員会によって、新型コロナウイルスの影響下での上映内容や方法を企画立案し、地域や世代を超えた幅広い方々に参加してもらい地域交流・情報交換の場を作ることを目的とする。

期 間：令和3年5月12日（水）～11月22日（月）

時 間：19:30～20:30

場 所：若狭公民館・会議アプリZOOM

対 象：那覇市在住・在学・在勤の人、関心のある人

受講料：無料

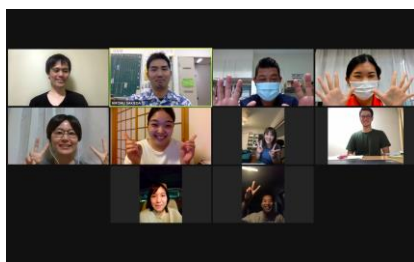
定 員：なし

参加延べ人数：67人

★★ 学習プログラム ★★

回数	実行委員会実施日	会議内容	人数
1	5月12日（水）	顔合わせ・上映会日程調整	6人
2	6月9日（水）	上映作品決め・当日役割分担	10人
3	7月16日（金）	ガイドライン読み合わせ・上映会日程調整	4人
4	8月5日（木）	三重城団地上映会調整・当日役割分担	9人
5	9月14日（火）	リハーサル報告・緊急事態宣言延長について	5人
6	9月26日（日）	三重城団地上映会当日	3人
7	10月12日（火）	三重城団地ふりかえり・当日役割分担	6人
8	10月29日（金）	若狭海浜公園上映会当日	18人
9	11月22日（月）	若狭海浜公園ふりかえり・次年度にむけて	6人

回数	実施日	上映会名	場所	人数
1	9月26日（日）	うみそら上映会 in 三重城団地	県営三重城市街地住宅	45名
2	10月29日（金）	うみそら上映会 in 若狭海浜公園	若狭海浜公園	72名



【まとめ】

新型コロナウイルス感染拡大防止の影響をうけ、オンラインでの会議を重ねて3密を避けての集まりを設けていた。コロナ禍中でも開催の手段を話し合い、感染症対策を行いながら上映会がスムーズに開催できるようガイドラインの作成を行なった。実行委員会が主体となり、緊急事態明けのタイミングを見計らい合計2回の上映会を開催することができた。地域や世代を超えた実行委員会で県外からの実行委員会参加もありオンラインならではの活動を行うことができた。次年度も会議を重ねて、上映会が円滑に行えるような活動をしていきたい。

〔3〕 親子ふれあい教室

おこづかいアップ大作戦！

趣 旨：小学校高学年からお金の貸し借りや、おごりおごられといった問題がでてくる。お金とは何かを知って、起こり得る問題に備えたい。おこづかいについて親子で話し合っ、お金に対する共通知識を持つことで、安心してお金のやりとりができるようにする。

期 日：令和3年4月3日（土）

時 間：10：00～12：00

場 所：若狭公民館ホール

対 象：那覇市在住小学4年生～中学2年生の生徒とその保護者

受講料：無料（但し、保険料50円は自己負担）

定 員：10組

申込人数：12組25人（うち受講決定人数20人）

参加人数：9組19名

講 師：福田 昌也（ファイナンシャルプランナー）

★★ 学習プログラム ★★

第一部：講義 / お金とは何か、お金にまつわる小話、税金DVD視聴

第二部：ワークショップ / おこづかいアップを目標に子どもから親に向けてプレゼンテーション



【参加者の声】

- ・おこづかいがアップするかもしれないので来て良かったです。
- ・子どもと一緒に学べる機会があって良かったです。
- ・アニメもあって楽しかったです。100円アップできて嬉しかったです。かたもみ頑張ります。
- ・プレゼンタイムとても面白かったです。
- ・ウィンウィン関係にするには？子どもが考えるようになってきました。
- ・ゲームをかうために、おこづかいアップの仕方がわかって楽しかったです。
- ・はじめて一億円をもってみたけど、めちゃくちゃ重かったです。説明もわかりやすかったし、とっても話が笑えて楽しかったです。おこづかいアップできました。早く父にねだりたいです。
- ・これからもおこづかい稼ぎを楽しんでくれたらいいな。

【まとめ】

お金が流通する条件や信用、税金についてわかりやすく学ぶ講義とワークショップを行った。お金の価値交換の仕組みを知ると、おこづかいの値上げ交渉ができるようになる。講師と相談しながら、後半はプレゼンテーションの方法を示してワークショップを行った。子どものおこづかいアップ交渉のプレゼンを聞き、親は返答。他の子や親の意見を聞いて、どんどん意見を変えていくこどもたち、親もお互いに影響を受けあい、深い学びを得られる講座となった。このように参加者が影響を与え合える講座は、コロナ禍だからこそ、今後も積極的に開催したい。

〔４〕 放課後子ども教室

若狭公民館放課後子ども教室「若狭ちむどんどん太鼓」

趣 旨：こどもたちの安心安全な放課後の居場所づくりとエイサーをとおして郷土の文化・芸能にふれる機会とする。また、公民館を利用し地域の方々の協力を得て活動することにより地域社会の一員として意識し、主体的に地域づくりに参画できる人材になることを目的とする。

期 間：令和３年４月１日～令和４年３月３１日（練習日）毎週火・金曜日

時 間：１７：００～１８：００

場 所：若狭公民館 第１研修室または３階ホール

対 象：近隣在住または在学の幼児～高校生

受講料：無料

登録児童：７人

参加延べ人数：１１３人

指導者：岸本 麗子（若狭１丁目自治会会長/若狭小学校区まちづくり協議会子ども育成部長）

サポーター：池城 あかね（保護者）

【練習日】

月	内容	参加延べ人数	活動時間数
４月～１０月	新型コロナ感染拡大防止のため活動休止		
１１月	活動日（６回）	５７名	６時間
１２月	活動日（６回）	４５名	６時間
１月	活動日（２回）	１１名	２時間
１月途中～３月	新型コロナ感染拡大防止のため活動休止		



【まとめ】

今年度もスタート時点からコロナ禍で活動自粛のため休止、練習が再開できたのは１１月となった。活動再開のタイミングでメンバーを再募集しエイサーの基礎となるバチ回し、足上げの動作をしっかりと身に着けることを目標に取り組むことができた。１月中旬に再度コロナ禍で活動自粛となり曲に合わせて踊ることができなかったことがとても残念だと感じている。

次年度も放課後子ども教室として継続、コロナ禍でも活動を持続するための工夫をしていきたい。

5 家庭教育事業

〔1〕 家庭教育学級

子どもの未来応援します！

趣 旨：A Iをはじめとするテクノロジーの変化や雇用形態の変化など、目まぐるしく変化し続け価値観が大きく変化する現代、新しい時代を生きる子どもたちがやりたいことをサポート・応援するためにも保護者には、新しい価値観への理解が求められる。そこで、講演会を開催し、親としてできることを考える機会とする。

期 日：令和4年1月22日（日）

時 間：10：00～12：00

場 所：Y o u T u b e 配信

対 象：那覇市在住・在勤・在学の人でオンライン環境がある人

受講料：無料

定員：なし

申込人数：26人

参加人数：26人（アーカイブ配信視聴回数186回／令和4年3月31日時点）

講 師：翁長 有希（キャリア教育コーディネーター）

★★ 学習プログラム ★★

オンライン講演会「変化の時代 今の大人にできること」



【参加者の声】

- ・世の中の大きな動きや家庭で自分にできることがわかった。すぐに実践したい。
- ・思った以上に時代が進んでいることに気づかされ、大人が新しい価値観をアップデートしないといけない事、柔軟に子どもの関心を持っていることを引き出す事が大切だと気づかされました。
- ・とても共感しながら聞く事ができました。
- ・自宅でリラックスしながら講演を聞くのが新鮮でよかったです。

【まとめ】

ひきこまれる内容で、2時間はあっという間だった。リアルタイムでの参加は26人だったが、講座翌日にはアーカイブ動画を公開、現在誰でも視聴できる様にし、3月半ばの時点で約200回観られている。あらかじめ講師に聞きたいことを伺っていたが、当日も随時、質問や感想をコメント欄に記入してもらった。質問に対する答えを講座内でもらえるのは、学びが深まるように感じた。アーカイブで、より多くの方に視聴してもらえるY o u T u b e 生配信は今後も活用したい。今回の配信は、スイッチャーでパソコン画面と講師の顔を切り替えて配信した。技術的に不慣れで準備に戸惑ってしまったので、今後は改善していきたい。

6 その他の事業

〔1〕 地域連携事業

沖縄ネパール相互理解とネットワーク構築のための交流会

趣 旨：現在、沖縄県には約2,300名のネパール人が生活し、若狭公民館が担当する地域は特に多くのネパール人留学生が滞在している。新型コロナウイルス感染症の流行は渡航制限をはじめ、就業環境の変化や学校の休校など在住ネパール人の生活にも大きな影響を与えた。様々な課題が顕在化する中、若狭公民館は沖縄ネパール友好協会（ONFA）と連携し、関係機関・団体とともにその対応を行ってきた。

今後、起こりうる様々な状況に対応できるセーフティーネットを構築するために、駐日ネパール大使館とONFA及び各関係機関・団体との連携体制を強化することを目的に交流会を開催する。

期 日：令和3年11月26日（金）

時 間：14:00～16:00

場 所：那覇市若狭公民館 3階ホール

対 象：《参加予定者》

ONFA（沖縄ネパール友好協会）／日本語学校関係者／入国管理局／那覇警察署／沖縄県国際交流推進課／国際交流人材育成財団／那覇市市民生活安全課／那覇市保健所／弁護士会／沖縄NGOセンター／多文化ネットワークf uふ！沖縄／観光危機管理研究所／NPO法人エデンプロジェクト／那覇市若狭公民館／沖縄県内マスコミ各社

受講料：無料

定 員：100人

申込人数：46人（うち受講決定人数46人） 参加人数：46人

ゲスト：駐日ネパール大使館臨時代理大使 アムビカ ジュウシイ氏

★★ 学習プログラム ★★

- ①アトラクション（三線）・・・若狭島うたの会
- ②ネパール大使館の取組紹介・・・駐日ネパール大使館臨時代理大使 アムビカ ジュウシイ氏
- ③ONFAの取組、各関係機関との連携について・・・ONFA（沖縄ネパール友好協会）
- ④質疑応答と名刺交換会



【まとめ】

若狭公民館で活動している若狭島うたの会のうた演舞で幕開けし、駐日ネパール大使館代理のアムビカ・ジュウシイ氏によるネパールの紹介、沖縄ネパール友好協会（ONFA）の活動紹介を行った。交流会には、県内の日本語学校、NPO団体、関連企業、市役所、社会福祉協議会、総務省沖縄行政評価事務所、福岡入国管理局 那覇支局、JICA、JICA協力隊OBなど様々な機関の方々が参加し、様々なご意見や提案が生まれた。多文化共生のまちづくりに向けて活動しているそれぞれの機関がつながる機会となった。

オンライン ネパール・ニューイヤー パーティー

趣 旨：ネパール人留学生が増加に伴い、地域住民とのトラブルが起こる可能性が想定される。交流イベントを通して相互理解を図るため、ネパールビクram歴のお正月に合わせてニューイヤーパーティーを2018、2019年に開催した。2020年は新型コロナ感染拡大防止のため、中止したが、今年はオンラインで開催、4月14日に特設ページをオープンする。

期 日：令和3年4月14日（水）公開

場 所：若狭公民館ホームページ特設ページ、若狭公民館ロビー

対 象：関心のある人

受講料：無料

定 員：なし

視聴回数：1,682回

講 師：オジャ ラックスマン（沖縄ネパール友好協会）

★★学習プログラム★★

動画を24本公開

- ネパールのお正月！（沖縄ネパール友好協会/オジャ ラックスマン、若狭公民館/宮城潤）
- ネパールを知ろう！文化と祭り（沖縄ネパール友好協会/オジャ ラックスマン、サンジブ シレスタ）
- ネパールの歌と踊りで楽しもう！（沖縄在住ネパール人のみなさん）
ヘルモ民族ダンス、グルン民族ダンス、ネパールダンス、楽器演奏、独唱など
- 沖縄文化で交流しよう！（鶴見部屋、オジャ ラックスマン、サンジブ シレスタ）
ネパール語でかぎやで風、ネパールの歌三線演奏、ネパール人による琉球舞踊、空手・古武道演舞
- ネパール料理に舌鼓！（沖縄在住ネパール人のみなさん）
アチャール、セルロティ、チキンカレー



【参加者の声】

2年前にネパールニューイヤーパーティーに参加した。ぜひ、また参加したい。

【まとめ】

ネパールのことの多くの方に知ってもらうためのよいコンテンツができたと思う。動画を見て、ネパール人を身近に感じてもらい、今後よりよい関係づくりに役だったら嬉しい。撮影に参加した参加者が楽しそうだったのが印象深い。今後も交流の機会を作っていきたい。

うみそら上映会 i n 三重城団地

趣 旨：三重城団地自治会と上映内容や方法を企画立案し、三重城団地にて野外上映会を実施。自由にアイデアを出し合いながら協力し、団地住民の幅広い世代の方々に参加してもらい情報交換の場とする。

期 日：令和3年9月26日（日）

時 間：19：00～20：00

場 所：県営三重城市街地住宅

対 象：団地住民

参加費：無料

定 員：特になし

参加人数：45人

★★ 学習プログラム ★★

若狭海浜公園の広場にスクリーンを設置し、沖縄を舞台にした短編映画やシネマ沖縄所蔵の8mmフィルム地域映像、映写機を使った16mmフィルムアニメーションを上映する。

- ・短編映画：「選ばれた男」
- ・16mmフィルムアニメ：「ミッキーマウスのバンドコンサート」
- ・懐かしの8mmフィルム映像：三重城団地周辺



【参加者の声】

- ・昔の映像が懐かしかったです。
- ・たまには、こういうのがあるのは嬉しい。
- ・那覇の歴史が勉強できてよかった。

【まとめ】

三重城団地自治会より「お年寄りや子どもの思い出に残るような野外上映会をやりたい」という声があり、リモートミーティングやメールでのやりとりを重ねて、今年度初のうみそら上映会を開催した。コロナ禍中ということもあり、参加者を団地住民のみで制限することにより開催できた。三重城団地自治会との地域交流・世代交流を行い、老若男女の参加があった。幅広い世代に楽しんでもらうため、16mmアニメーションや昔の映像を取り入れ、最後まで飽きさせないプログラム作りを工夫した。

今回の出張上映会により、来年度も開催の検討がされており、引き続き地域と連携して世代交流の場を作るイベントとして継続していく予定。

今後は出張野外上映会を他の団地や地域の方々と連携しながら開催していきたい。

うみそら上映会 i n 若狭海浜公園

趣 旨：有志による結成された実行委員会で、上映内容や方法を企画立案し、様々な種類の作品を上映する。自由にアイデアを出し合いながら協力し、充実した事業を作り上げていく。また、誰もが利用できる公園で上映することによって、近隣住民だけでなく地域や世代を超えた幅広い方々に参加してもらい地域交流・情報交換の場とする。

期 日：令和3年10月29日（金）

時 間：19：00～20：00

場 所：若狭海浜公園

対 象：どなたでも

参加費：無料

定員：特になし

参加人数：72人

★★ 学習プログラム ★★

- ・ユーチューブ作品「宝探し、その未来」・「100年前のまちまーい」・「Nepal in Okinawa」・「はいたい那覇」
- ・沖縄アーカイブ研究所提供のアニメーション
- ・なつかしの若狭地域映像



【参加者の声】

- ・久しぶりのうみそら上映会だったので、外で涼しい中、観れるのを楽しみにしていました。
- ・ユーチューブの映像は、制作の意見を聞くと腑に落ちた。おもしろかった。身近な場所で非日常を味わうことができた。いい企画です。
- ・また参加したいと思う。
- ・またやってください。

【まとめ】

約2年ぶりの「うみそら上映会」を無事開催することができた。感染症拡大防止対策のため多くのスタッフが必要になったが、うみそら上映会実行委員会が主体となり、「若狭小学校区まちづくり協議会」「小緑高校ボランティア部」との協力のもと、スムーズに進行できた。機材のトラブルがあったが、沖縄アーカイブ研究所の真喜屋氏の自作アニメーション動画を上映して対応。みんなで連携して終了した。

来年度は例年通りに5回ほど上映会を行えるように工夫していきたい。

なは防災キャンプ' 21春(若狭公民館)

趣 旨：那覇市若狭公民館にて有識者および地域住民有志で1泊2日の防災キャンプを行い、宿泊を通して、避難時に施設がどのような機能を持ちうるのか、そして何が不足しているのかを参加者と議論・共有する。そこで得た情報をまとめてオンラインで共有する場を設ける。地域住民の自助・共助の意識を高め、災害時に地域でキーパーソンとなりうる人的資源の育成につなげていく。

期 間：令和3年5月1日(土)～2日(日)

時 間：1日15:00～2日12:00

場 所：那覇市若狭公民館/会議アプリZOOMを使用して配信

対 象：那覇市在住・在勤・在学者、関心のある人

受講料：無料

定 員：特になし

参加延べ人数：防災キャンプ参加者11人、1日、2日のオンライン勉強会参加者延べ22人

★★ 学習プログラム ★★

実施日	活動	内容	人数
1日15:00～ 2日12:00	宿泊研修	オリエンテーション/防災散歩・撮影 /夕食準備・寝床づくり/振り返り/就寝	11人
1日18:30～20:00	オンライン勉強会①	～コロナ禍×避難所～	延べ
2日 9:00～10:00	オンライン勉強会②	～災害時の企業・行政・地域の関わり～	22人



【参加者の声】

- ・やはり訓練。その状況を動画記録する必要性。
- ・「命を守る」術を多くの人々、特に子どもたちが身につけられるように、教育訓練の機会を作ってほしいと願っています。
- ・災害時に企業の役割が大きいことを改め実感しました。

【まとめ】

若狭公民館でキャンプを行い、コロナ禍における避難所ゾーニングのトライアルをし、実際宿泊した気付きをまとめて、オンライン配信を行った。配信では防災専門家の講話、管理栄養士の衛生面に関する意見やペット避難の難しさなど発信することができた。また、宿泊を通して得た情報をまとめて避難所開設時のマニュアル作りの参考にした。

なは防災キャンプ'21夏(那覇新都心公園)

趣 旨：那覇市の広域避難場所に指定されている那覇新都心公園を会場に、ディキャンプ防災キャンプを実施。テント泊を通して屋外避難を疑似体験することで、もしもの時に活用できる野外活動のノウハウなど実践を通して身につける。また、新都心公園に備えられた災害時機能について学ぶ機会とする。様々な個人・機関との連携を通し、継続的に機能する災害時プラットフォームの形成を促進する。

期 日：令和3年10月21日(木)

時 間：13:00～16:00

場 所：那覇新都心公園

対 象：地域・行政関係者・関心のある人

受講料：無料

定 員：特になし

参加人数：防災キャンプ参加者22人

★★ 学習プログラム ★★

・防災関連ブースの出展

テントブース/受付ブース/ペット防災ブース/まいまい号/車中泊展示/エアクリーンテント&ベッド

・防災さんぽ

ブース説明→那覇市備蓄倉庫



【参加者の声】

- ・公園を避難で使用する意識がなかったので、活用方法など勉強になりました。
- ・普段意識していないことを気づかされた。自宅の対策を全くやっていないので、食糧備蓄からやってみようと思います。
- ・自然には勝てない、すばやい対応が求められる。

【まとめ】

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から宿泊はせず、ディキャンプ開催した。ペット防災や被災地で活躍中の車の展示、快適な車中泊の提案などの複数のブースを設置し、多くの方と共有することができた。また、テントの災害時における役割を紹介することを通して参加者と理解を深めた。那覇市防災危機管理課による、備蓄庫の案内を防災さんぽの中でおこない参加者で確認することができた。このキャンプを通しての反省点からプログラムのさらなるブラッシュアップをはかり、次回開催へつなげたい。

なは防災キャンプ'21 in 那覇JC会館

趣 旨：10月17日に開催を予定していた那覇市市制100周年記念提案事業「防災FEST A」が中止となったことを受け、防災の取り組みを企業と共に行うために那覇青年会議所にて防災講話と防災さんぽを行い、企業人が防災についての機会を作ることを目的とする

期 日：令和3年10月30日（土）

時 間：13:00～16:00

場 所：那覇JC会館

対 象：那覇青年会議所会員

受講料：無料

定 員：特になし

参加人数：18人

★★ 学習プログラム ★★

展示：避難所モデルルーム、テント・ダイニングセット、那覇市パーテンション・簡易ベッド。

講話：防災の専門家による防災知識と若狭公民館館長の地域を巻き込む防災プログラムの講話。

防災さんぽ：小禄周辺地区の災害時の危険性と資源について調べる。



【参加者の声】

- ・防災というジャンルに関心はありましたが、どこで学べるかはしりませんでした。このような機会を通じて勉強することができて良かったです。
- ・地域を歩いたりして、日頃考えない事などを考えられるいい機会になりました。
- ・震災が発生してからでは遅く「防災」に関する知識量によって自らの命、そして近くにいる人の命を救うことができるものだと思っている。自分達が住む地域の状況や可能性を知ることができ学びが深いものとなりました。

【まとめ】

日頃は仕事で忙しく、なかなか学ぶ機会のない企業人に対して、防災キャンプが行えたことは災害時大きな力となる企業との地域連携強化に向けて大きな収穫となった。常時展示ブースとして設けたモデルルーム、テント、那覇市の備蓄パーテンションには参加者が実際に入ったり、寝たりして避難体験をしてもらうことができた。講話では防災イベントの作り方や企業が防災に関わった事例などを講師から紹介していただき、JC会員の事業や会社に活かしていけそうとの感想をいただいた。防災さんぽでは実際に公園や道路を防災の専門家と歩くことにより、周辺地域の課題や資源などを参加者と共有することができた。これから引き続き企業人との防災連携を強化し、災害時に地域・行政・企業が連携していけるようにしていきたい。

なは防災キャンプ'21 秋 防災シンポジウム

趣 旨：地域や住民などで助け合う「共助」と公的機関が救助活動や物資などを支援する「公助」がどのように連携していけるかを話し合い、今後起こりうる災害に備えて協力体制を構築していくことを目的とする。

期 日：令和3年12月20日（月）

時 間：18:00～20:00

場 所：なは市民活動支援センター

対 象：那覇市在住・在勤・在学者、関心のある人

受講料：無料

定 員：50人

申込人数：33人（うち受講決定人数33人）

参加人数：33人

★★ 学習プログラム ★★

第1部 基調報告：避難所検証・地区防災計画実践

- ・一般社団法人災害プラットフォームおきなわ／共同代表理事 稲垣暁

第2部 パネルディスカッション：沖縄地域防災課題に対する具体的方策

- ・災害NGO結／代表 前原土武
- ・NPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク／代表 李仁鉄
- ・那覇市まちづくり協働推進課／主幹 渡嘉敷洋美
- ・那覇市防災危機管理課／課長 屋良剛
- ・那覇市公園管理課／主査 小濱裕子

フロアからの発言：上下水道局 下水道課／銘苅小学校区まちづくり協議会



【参加者の声】

- ・経験豊富な方々の実践的な話が多かった。即実行できそうな具体例が出た。
- ・「受援力」互いが信じること、受け入れること、初めて聞く言葉ですが、納得感があった。
- ・高齢者や障がいを持った方がどのように避難すべきか考えていきたいと思います。
- ・今日聞いた話を地域にもちかえり、行政との関わりもよりよくしていきたいです。

【まとめ】

「公助×共助」はお互いに顔が見える関係となり、平時からの関係づくりが急時に活かされる連携体制が作れるのだと感じた。防災の専門家・行政・地域の方々によるそれぞれの目線での意見を伺い、共有できたことは災害時の連携へ向けたキッカケとなったと考える。今後も意見交換の場を定期的に設けて、平時から繋がる関係性作りをおこなっていきたい。

〔２〕 提案事業

土曜朝塾

趣 旨：教員志望の学生団体が運営を行い、若狭公民館エリアの児童生徒を対象にした学習支援を毎週土曜日に実施し子どもの学習能力向上と大学生の模擬授業体験を図る。日頃関わる機会の少ない大学生と小学生・中学生の関係性の向上を目的とする。

期 間：令和３年１０月１６日～１２月２５日（毎週土曜日）

時 間：９：００～１２：００

場 所：若狭公民館 第３研修室

対 象：若狭公民館エリアの児童生徒

受講料：無料

定 員：なし

参加延べ人数：１８７人

共 催：若狭小学校区まちづくり協議会

★★ 学習プログラム ★★

	月	内 容	児童数	大学生
1	10月16日	各自持参の宿題 サポート/アイスブレイク	10人	11人
2	10月23日	各自持参の宿題 サポート	16人	8人
3	10月30日	各自持参の宿題 サポート	10人	4人
4	11月6日	各自持参の宿題 サポート	8人	8人
5	11月13日	各自持参の宿題 サポート	8人	5人
6	11月20日	各自持参の宿題 サポート	8人	3人
7	11月27日	各自持参の宿題 サポート/リズムを奏でよう	7人	8人
8	12月4日	各自持参の宿題 サポート/クリスマスリースづくり	8人	10人
9	12月11日	各自持参の宿題 サポート/生物の仲間分けをしよう/授業参観	11人	11人
10	12月18日	各自持参の宿題 サポート/お金の使い方について考えよう	8人	8人
11	12月25日	各自持参の宿題 サポート/クリスマス会	8人	9人



【まとめ】

大学生インターンによる対面授業と探究学習、「自律学習支援」を目的とした。模擬授業を行った。インターン生からは「授業準備の時間をしっかり確保できず当日慌てた」「学生によって学習への意欲や学習時間が異なるため、授業作りの難しさや子どもへの接し方などを学ぶことができた」との声が聞けた。事業に参加した子どもからも「来年も来る」という言葉も聞け、来年度に繋げる可能性を感じた。大学生との連携と小学校の協力を得られるように公民館もサポートしていきたい。

アーティストと開発する社会教育プログラム

趣 旨：多層多様な人々が、その差異を保ちながら関わり合い、学び合う「社会教育」の機能を「アート」によって強化することで、ウィズコロナ時代における地域コミュニティの再構築を試みる。参加した人々の創造性が発揮されるユニークな社会活動の持続化を目指し、県内外のアーティストや美術批評家を顧問に招いたクリエイティブな「部活動」に取り組む。

期 間：令和3年6月10日（木）～令和4年2月28日（月）

場 所：若狭公民館、若狭児童館、ホテル アンテルーム 那覇、若狭海浜公園

対 象：那覇市在住・在勤・在学 受講料：無料 定員：なし

申込人数：167人（うち受講決定人数167人） 参加延べ人数：581人

★★ 学習プログラム ★★

活動	実施日	協力者・団体	人数
ダンボール部	10/16, 11/6, 20, 12/4, 18, 29	儀間朝龍	延べ 69 人
ユーチュー部	10/10, 13, 27, 11/10, 24	顧問：藤井光	延べ 69 人
ポストポスト部	6/11, 18, 7/9, 30, 8/23, 27, 9/17, 29, 10/1, 22, 26, 11/12, 26, 12/17, 1/7, 21, 28, 2/4, 10, 18	顧問：平良亜弥	延べ 102 人
アート同好会	7/14, 28, 8/11, 9/8, 22, 10/6, 20, 11/10, 24, 12/8, 22, 1/12, 26, 2/7	顧問：土屋誠一	延べ 30 人
アートな部活動成果発表会 & パネルディスカッション	2月23日（水・祝） 13:00～17:00	中村斉、若林朋子、儀間朝龍、藤井光、平良亜弥、土屋誠一	61人
フォーラム「アート×教育 ～アートが拓く地域・学校の未来～」	7月25日（日） 14:00～17:00	牧野篤、堤康彦、知花幸美、翁長有希、喜舎場梓	48 人
「アート×社会教育」 ワークブック	2月23日（水・祝）発行 冊子：配布（50部） PDF版：260人にメールにて配布	監修：藤浩志、 編集・執筆：坂田太郎、 執筆者：牧野篤、藤浩志、 たんぽぽの家、土屋誠一	202 人



【まとめ】

アーティストによる社会教育プログラム4つの「アートな部活動」に取り組み、それぞれに成果を見せた。ダンボール部は、児童館及び児童クラブと連携をはかり、子どもの居場所づくり・体験機会となった。ユーチュー部は、在住外国人との交流促進が図られたほか、外国人の目線からみた沖縄の魅力の発信となった。ポストポスト部は、本事業が目的とした新しいコミュニティづくりに即したプログラムとなった。コロナ禍で薄くなる地域の方との交流やまちの魅力をつくる取り組みを、部分的かつ限定的ではあるものの、オンラインでも補完可能なことが実証された。今年度新たに始めたアートな同好会は、参加者層を限定した事業で座学中心のプログラムであったため、漫画やアニメなどのポップカルチャーから美術作品を“観る”ことについて学び、今後の中学校の部活動との連携に向けた足がかりとなった。この事業を発展させていくために、さらなる魅力的な社会教育プログラムの開発に着手していきたい。

7 公民館まつり

第29回 若狭公民館まつり

趣 旨：若狭公民館で活動している団体（サークル）の活動成果を発表・展示することにより、団体の学習活動継続への刺激を与え、団体（サークル）相互の連携を深める。

期 間：令和4年2月19日（土）～20日（日）

場 所：若狭公民館

対 象：若狭公民館利用団体

定 員：なし

参加延べ人数：97人

主 催：若狭公民館利用団体連絡協議会

共 催：若狭公民館・NPO法人地域サポートわかさ

★★ プログラム ★★

実施日	内 容	会 場	参加人員
2月19日（土） 13:00～16:00 2月20日（日） 9:00～13:00	展示発表	第1研修室 第2研修室	50人
2月19日（土） 13:30～15:00 2月20日（日） 8:30～13:30	舞台発表	ホール	47人

第29回

若狭公民館 まつり



【参加者の声】

- ・コロナにより発表する機会がなくこのような機会を作ってくれて嬉しい。
- ・日頃顔を合わせることもない別のサークルの方と交流することで、お互いを知る事ができた。

【まとめ】

若狭公民館利用団体連絡協議会の役員で開催方法の議論を重ね、無観客での舞台発表、利用人数の制限を行っての展示発表という形で開催することになった。普段顔を合わさない公民館の利用者が会場設営のために、協力して展示会場を作り上げることができた。日頃の成果を発表する場を作れたことでサークル活動を活性化できたと考える。舞台発表や展示の様子などは撮影・編集して、特設ページに公開した。冊子を制作し、利団協の方々に配布を予定している。今後の課題として、利用団体会員の高齢化が年々進んでいることがあげられる。幅広い層に利用してもらい活性化に繋げる工夫をしたい。

公民館まつり風景



展示発表



舞台発表撮影



舞台発表撮影



舞台発表撮影



展示発表



舞台発表撮影



フロア発表撮影



フロア発表撮影

